

2024-25年度クラブ目標

創立1986年

『思いやりがある 感謝のロータリー』



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘  
幹事 十文字 光伸

## 第1826回例会

令和6年10月17日 (18:30~19:30)



○ソング

- 奉仕の理想

○ビジター

- 第2530地区ガバナー 早川敬介様 ●地区幹事 佐藤和夫様
- 県南分区ガバナー補佐 佐藤演由様 ●分区副幹事 佐藤和夫様

○スマイルBOX

- 県南分区ガバナー補佐 佐藤演由様 (本日はガバナー公式訪問に県南分区ガバナー補佐として参加させていただきました。副幹事の草野も同席させていただきます。よろしくお願ひします。)
- 阿部克弘会長 (本日は早川ガバナー、佐藤地区幹事、佐藤ガバナー補佐、草野副幹事訪問有難うございました。)
- 十文字光伸幹事 (本日はガバナー早川敬介様、ガバナー補佐佐藤様、地区幹事佐藤様、分区副幹事草野様、大変お世話になり、ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (本日は早川ガバナーの公式訪問ありがとうございました。)
- 永野文雄会員 (早川ガバナー様公式訪問ありがとうございました。11月3日の地区大会は南湖神社の「秋季例大祭」の為に欠席になりました。すみません。)
- 中目公英会員 (早川敬介ガバナー、クラブ協議会での有益なご指導をいただき、ありがとうございました。)
- 宮本多可夫会員 (早川ガバナー、公式訪問お世話になりました。ありがとうございました。)
- 富永章会員 (早川ガバナーようこそ白河西RCへご指導よろしくお願ひいたします。)
- 佐藤幸彦会員 (早川ガバナー初め、役員の皆様、ようこそ)
- 関谷亮一会員 (早川ガバナーようこそおいでいただきました。今年一年よろしくお願ひいたします。)
- 吉野敬之会員 (早川ガバナー、佐藤ガバナー補佐、佐藤副幹事本日はありがとうございました。又、先日は誕生日のプレゼントありがとうございました。)

【今週の仮メイクアップ会員】

- 10月12日 地区大会記念親着ゴルフ大会  
運天直人、長克則、齋藤愛、中嶋一貴、成井正之、藤田龍文  
堀田一彦、沼田重一
- 10月15日 早川ガバナー御夫妻歓迎会  
阿部克彦、十文字光伸、金田昇、諸橋和典
- 10月16日 二本松RC交流会  
阿部克弘、十文字光伸、青木大、運天直人、中嶋一貴  
吉野敬之、成井正之、居川孝男、吉田充、山縣栄寿、鴨丸彰紀  
藤田龍文、堀田一彦



10/17 本日のメニュー  
・搾菜と胡瓜の和え物  
・海老つみれと鰯と里芋の炊き合わせ  
・鯖の西京焼き はじかみ添え  
・牛すき月見風 ・なめこ汁  
・野沢菜ちりめん御飯  
・桃のコンポート

▶第1826回例会出席状況

(R6年10月17日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	17名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	45名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	70
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	64.3%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、こんにちは。本日も多数ご参加をいただきまして有難うございます。

先程、SAAの矢田部委員長からご紹介がありましたように、本日はガバナーをお招きしての例会になりますので宜しくお願いしたいと思います。それでは、本日のお客様をご紹介させていただきます。国際ロータリー第2530地区2024-25年度ガバナー・早川敬介様、同じく地区幹事・佐藤和夫様、同じく県南地区ガバナー補佐・佐藤演由様、同じく副幹事・草野好夫様。後ほどガバナーからは卓話をいただきますので、どうか宜しくお願い致します。

今日は午後3時30分から4時まで会長・幹事会が開催されました。早川ガバナーと佐藤地区幹事と藤田龍文会長エレクト、同じく運天直人副幹事、そして十文字幹事と私と協議をしてまいりました。いろいろクラブに関して有難いご指摘を沢山いただきまして、これから次年度・次々年度に向けて直していければと思っております。その後、クラブ協議会を午後4時から5時40分まで行いましたが10分間だけ延長させていただきました。それだけ熱心な早川ガバナーの講評をいただきました。皆さんそれなりに自分の委員会が今後やっていかなくてはならないところのご指摘があったと思いますので、ぜひその教訓を生かして貰えると有難いです。詳しくは早川ガバナーから他の皆さんにお話があると思いますので楽しみにして貰いたいと思います。

さて昨日は野球愛好会の皆さんと二本松ロータリークラブの野球愛好会の方と親善試合を行なってもらいました。その前に二本松ロータリークラブの例会にもお邪魔させていただきました。第一分区の阿部ガバナー補佐さんも来訪されており卓話をされ私たちもいろいろ参考になりました。その後、本宮市の野球場において定期戦ですか？交流戦ですか？親善の野球試合をやりました。私は参加できませんでしたが、わがメンバーの吉田充さんがエースピッチャーで本当に頑張って投げました。最後おいあげがあって僅差でしたが残念ながら負けてしまいました。私も久々に野球観戦をしましたが自分も次回からは練習にだけ参加させて貰おうかと思いました。来年は野球愛好会の

皆さんもかなり練習をして良い成績を残すと思いますのでそれを私も期待したいと思います。

あと最後になりますが、会員増強委員会の堀田委員長から先程女性会員がもう一人増えるようになりますと報告がありました。来月からとなりますので皆さんに報告致します。どんどん女性会員が増えて貰うのは、わがクラブにとっても有意義な事だと思いますのでどうか引き続き宜しくお願い致します。

あと遅くなりましたが、早川ガバナーと佐藤地区幹事さんからお祝いを頂戴しておりますのでこちらもご報告申し上げます。有難うございました。会長の時間は以上となります。早川ガバナー宜しくお願い致します。

### 二本松RC例会、野球交流戦、懇親会参加(10月16日(水))

#### ●例会



#### ●野球交流戦



#### ●懇親会



## ■幹事報告

十文字光伸幹事

- ロータリー財団委員長 林克重：地区補助金番号・補助金活動リストのご送付
- 白河赤十字奉仕団委員長 安澤荘一：赤十字奉仕団第2回委員会
- 2024-25年度ガバナー早川敬介：2027-28年度ガバナー選出の件
- 国際ロータリー：公共イメージニュース ロータリーの公共イメージ向上に力を注ぐ
- 米山記念奨学会事務局長 峯純子：ハイライトよねやま295号
- 実行委員長 安田貴久：第11回cycle road race『城d' 白河』2024オープニングセレモニーご臨席のお願い
- 白河南ロータリークラブ会長 西牧拓人、幹事 蓮沼一紀：年次計画書の送付について
- 須賀川ぼたんロータリークラブ会長 水上哲夫：年次計画書の送付について
- 福島民報社：「国際ロータリー第2530地区地区大会」特集広告ご協賛のお願い

## ■2024 - 25年度国際ロータリー-2530地区

県南分区ガバナー補佐 佐藤演由様



皆様、こんばんは。今日はガバナーと一緒に邪魔いたしました。午前中は石川ロータリーのほうにメーキャップさせていただきました。そして、今こちらのほうにきております。ガバナーと一緒に今日は一日歩いているんですけど、皆様のお顔を見て私もほっとしました。やはり白河に戻ってくると心強く感じます。後でガバナーがお話すると思いますけど、ポリオ撲滅ということで、石川のほうに行って募金をやっていると写真を撮っていただいて、フォトコンテストが11月25日締め切り。うちは11月23日に石川の町の中でやるというんですね。そしたら、インターアクトの学法石川の子供達とかうちの会員でやると。じゃあ、是非頑張ってくださいと言って、話し聞いてたら私服で普通にやるというんですね。そして、私が今日行ってこれじゃあまずい、この赤いシャツくらい持ってなきゃ駄目だということで。私地区のほうからシャツは10枚、あと募金箱30センチの赤いポリオという募金箱、これを二つ持ってくるからそれで盛大にやろうと言ったら、もう張り切っていました。是非、これから回っていくんでしたらいろんな県南のクラ

ブに行って皆で5千円を寄付で欲しいと。そしたら、バッチも用意しておきますので。バッチは千円位するんですけど、それを大切なバッチですので、このバッチを配ることになりますので、そしたら5千円以上の方に配るって言ってましたけど。そして、これ千円はします。是非、足を運んでもらって盛り上げたいと。私とあと幹事の齋藤正明君と二人は赤いシャツ着て行ってます。是非、皆様で来てもらって県南全クラブが応援してくれると心強いと。場所がまだはっきり決まってませんので、後で皆様のほうに通知させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

## ■本日のプログラム

ガバナー公式訪問

2024 - 25年度国際ロータリー第2530地区

ガバナー 早川敬介様



皆さん、こんばんは。福島県ですと「おぼんです」と言うのが普通なのかなと思いますけれども、実はこの「おぼんです」という言葉も全国標準ではないんですね。実は私は郡山北ロータリークラブなんですが、九州の久留米に行った時に、夜向こうに着いて歓迎を受けました。「こんばんは」ではなくて「おぼんです」という挨拶をしたところ、次の日の久留米のロータリーの例会、お昼ですよ。郡山北ロータリークラブの人に挨拶を習いました。「おぼんです」と言われたんです。えっお昼に、違う違う違うってそんなふうにな、地方では全く「おぼんです」がわからない地域もあるんだなというふうに思いました。ですから、先程クラブ協議会のほうでもお話したんですが、メイクアップすることの大切さ、それもう地区内だけじゃなくていろんな地区の方々で交流するというのも面白いんじゃないのかなと思いますので、是非お取り組みいただければと思います。今日、まず最初にわたくしがお話したいのは、わたくしが実はロータリーという言葉を実に身近に聞いたという経験からお話させていただきます。わたくしはロータリーに入る前に、郡山市のPTA連合会の会長をしておりました。実は郡山市というのは、幼、小、中、高、養護と響が入っている会で、県内でも珍しい全国でも珍しい連合会なんです。そこでロータリーと出会ったといいますのは、実はわたくしの父と同級生だった方々にお会いする機会がありまして、そ

の方々が家に来られていろいろ話をしているところを伺いました。その方は実はこの地区がまだ253地区の時代。山形と合同でやってる時代ですね。1983 - 84年度のガバナーでありました田中善六さんという方です。「クラロン」という縫製工場をやってらっしゃる会社の方ですけども、この方は実は福島で国体があった時にユニフォームを作られた会社の社長さんです。この会社は障害者を多く雇っていらっしやいまして、従業員の35パーセントが障害者ということでした。そういう話を身近に伺いまして、できれば郡山市のPTA連合会の秋の大会に講演をお願いできないかとお頼みしました。実は自分の日程がよくわかってないので、その日が空いてるかどうかはうちの部長に聞いてほしいという事で、その後会社の部長さんがお見えになって大丈夫ですということでお引き受けいただいたんですが、その時郡山市のPTA連合会の会員二千人に聞いていただきました。その頃、実はわたくしは日本PTAの常務理事をしております、その頃愛媛県でPTAの全国大会というのがあった時に、たまたま懇親会の席にわたくしの隣にその当時の文部省の審議官がお座りになりました。その時、その審議官の方が大変若かったので生意気にも言ってしまったんです。というのは、義務教育というのは目標何だったんでしょうか。私は生涯に渡る約40数年に渡る職業を通して、自分の人生設計が出来る子供を作ることではないんでしょうか。卒業させることではないんでしょうかというふうに話しました。その当時、平成10年の頃です。皆さん、記憶にあるかもしれません。実はその頃、高等学校も中学校も1点でも2点でも点数を上げる。教育現場がそういう現場でした。職業について考えるなんていうことは、学校の中でもありませんでした。そこで文部省のその審議官にお話したのは、実は一般の企業の所で体験学習をすることによって、企業家の人たちがどのように厳しい社会で経済活動しているのかというのを子供に伝えていくことによって、次の世代を担う子供たちが育成できるのではないかという提案をしたんです。これにはやはり中学生、義務教育の時にできるだけ職業体験をさせるということをお願いしたいというふうにお願ひしたところ、2週間後に電話がかかってきて是非やってほしい、やってくださるのであれば予算を付けますという事で、実は日本PTAで緊急役員会を開きまして、3千万の予算を付けていただ

きました。47都道府県プラス政令指定都市があるんですが、そのうち40か所がその年度内にやっていただくことができました。福島県では、福島県の教育委員会と郡山市の教育委員会が私のたまたま母校であります郡山市立行健中学校という所でやってほしいという意見があったもんですから、じゃあ地元を説得しましょうということで、その当時の商工会の会長さんと、それから学校の校長、教頭等にお話をしてやっていただくような段取りになりました。その時にたまたま私が全国の職業体験をまとめた本他に行健中の個別の報告書を持っていて、日本PTAで文部省の課長との懇談会があった時に、文部省の課長が個別の学校の報告書ないですかと言われてたことで行健中の報告書を差し上げました。それを読んだ課長が「早川さん、これ相乗効果ですね」それは子供たちの報告書の中に、受け入れをしてくれた企業のある女子の従業員の方の言葉が目刺さるようがありました。それは、私は今まで社長と専務から命令された仕事をやってきただけだったんだけど、たまたま中学生にその職業を説明しろということで担当になって、自分のやってきた職業の事を仕事の事をずっと考えたら、私はこの仕事を通して社会に貢献していたんだということが実感できましたという報告書になってたんですね。それを読んだ課長が「この事業なくしたくないですね」仰ってくださいました。また、その当時わたくし自身が郡山北ロータリークラブから入会を要望されていて勧誘を受けていたのですが、その後専務理事になってその専務理事の時というのは、たまたま全国のPTAが創立50周年という時だったもんですから全国飛び跳ねておりました。そのような中で、何度も勧誘を受けたもんですから、ロータリーに入会する時に条件を付けた人なんていないと思うんですけども、私は条件付けたんです。実は、皆さん方の事業所が中学生のインターンシップの受け皿になってくださるのであれば入会させていただきますというふうにお話したところ、2か月後我々の郡山北ロータリークラブは受け皿になるから、早川君入ってくれと言われてお断りできなくなりまして入会しました。入会して、この中学生のインターンシップのプロジェクトが上手くいくようになるまで君はこの委員会の委員長しなさいということで、新世代委員会の委員長を6年務めました。この間、各中学校の発表。郡山北部の5校の中学校をメインに動いたんですが、こ

の中学校の2年生の発表会を公民館とか地域交流センター、視聴覚ホールとかを使って発表してきました。校長先生、担当の先生方、受け入れ企業、それからロータリアン、家族なども聞いてくださいました。そのような中で、実は各学校のインターンシップの視点が違ってることがだんだん気付きました。ある中学校では、修学旅行と抱き合わせてインターンシップをやった学校もあります。東京に行った学校は、NHKと警視庁で体験学習をした。仙台に行った学校は仙台空港と市場で体験してきた。当然地元でいろんな企業に入ってもやっていますが、そういう事もありました。そんな中でたまたま担当していた先生が移動になって教育委員会に行った先生が10年目に「早川さん、これ文部科学大臣賞に値するような素晴らしいプロジェクトなので推薦していいでしょうか」ということでお話をいただきましたので、「是非お願いします」ということで、県教委もOKということで申請が出ました。申請出た途端に、今度はまた電話がありまして「早川さん、文部大臣賞が決定するのは文部省で、我々でないのでノミネートしただけなので、落っこったらごめんなさん」という電話もありましたが、一年目で無事キャリア教育優良推進団体ということで、全国のロータリーのクラブでは唯一表彰を受けました。そんなこともあった社会貢献活動をずっとしてきたんですが、実はわたくしにはもっと前に社会貢献活動を決意させたことがあります。わたくし自身が36歳の時、私は子供3人いるんですが2人までの時、3人目が生まれる前、小学校に入学した一番上の子と2番目が幼稚園に入りまして、物心付いてきたからなんで、「お父さん、飛行機に乗ってみたい」って言われて、皆さんご存じの東京ディズニーランドで遊んで、夕方羽田からフライトして大阪行って、そして大阪で一泊して次の日新幹線から富士も見せたいなという家族旅行を企画しました。4人です。私の一年先輩の旅行会社をやってる方々に予約をお願いしたんですが、その当時まだ携帯電話がない時代で、10円玉をいっぱい赤電話の所に入れて「先輩、どうですか。取れましたか」「いや、早川、2席しか取れない、もうキャンセルしろよ」と言われて、「じゃあ、キャンセルもお願いしていいでしょうか」と言ってキャンセルして、東京ディズニーランドだけで家族で遊んで夕方戻って私の両親と6人で夕食を取りました。そして、夕食終わった後、昔のテレビほ

ちっと引っ張るスイッチでしたけど、これで付けて画像出てきました。この画像見てびっくりです。日にちを追います。1985年8月12日、JALの123便、あの御巢鷹の峰に落ちた飛行機に乗ろうとして予約をしていたんです。私はあの520人の亡くなったJALの飛行機に乗らないですんだというよりも、私は生き残されたんだと思って子供にも言いました。私たちの命を大切に使おう。社会貢献にお父さんは使いたい、みんなも命を大切にしてくれということ言って、それからがPTA活動にも邁進しましたし、なんで日本PTAまで行かなくちゃならないのって思うでしょ。そんなふうやってきちゃったんです。ただ、本当に先程言いましたようにインターンシップとか、それから結婚して子供を作らないなんていう時代で、じゃあ我々は子供を持ったおかげで親として成長したんだから、そこから発信しようということ、「楽しい子育て全国キャンペーン」などもやりました。そしたら、読売新聞が素晴らしい取り組みなのでって2年連続無償で全面広告を出してくださいました。その時のあるお母さんの言葉、今でも忘れてません。「不完全な私が子育てしている。不完全だからこそ考え悩み一步一步」ある小学生の男の子がこういう詩もしました。「おばあちゃん、僕をおじいちゃん間違えてもいいよ。でも、僕はおばあちゃんが大好きだ」認知症になったおばあちゃんの事についての詩ですね。こんなふうに家族が一丸となって取り組んでいるという姿をやっぱり全国的に発信をして、子供を持つ大切さというのを訴えてきました。また、わたくし自身がこれまでプライベートな事をお話しましたがけれども、地区の中でロータリーでどういう関りがあるのかというお話をちょっとお話させていただきます。2011・12年の時にガバナーエレクトでした郡山西北ロータリークラブの伊藤浩さん、もう亡くなられましたけれどもガバナーエレクトの時に「早川君に頼みがある」「何でしょうか」「青少年奉仕のRYLA委員長を受けてくれ」当時、ロータリーに入ったら断ることは許されてませんでしたね。なんでも「はい」と言えと。「はい」と返事しました。でも私、RYLAって初めて聞いた言葉で、辞書で調べたんですがRYLAの意味って全然わかりませんでした。英語かなと思って調べたら「Rotary Youth Leadership Awards」の頭文字だということがわかって、それから地区に対してもカタカナのライ

ラは止めましょう。英語でRYLAと書きましよう。これでRYLAとやっていきましようよというふうにお頼みしました。これが今、皆さんのクラブでもRYLAというふうに英語で書いてある元になっています。今回、こちら訪問したんですけども、この中で2つのクラブだけカタカナでライラと書いてあるクラブありました。RYLAって意味わかってるんですかって思わず聞いてしまいましたけど。結局何も考えてないで、ずっと全面踏襲でやってきてるのかなと思いますので、是非そういう取り組みをお願いしたいなというふうに思います。また、今年の6月の11、12日にはパストガバナーの芳賀裕さんが実行委員長ということで、第16回全国RYLA研究会というのが郡山の「ホテル華の湯」でありました。この時の来賓にRI理事、当時の理事でした「佐藤芳朗」と書いて「さとうよしお」という方と、それから現在RI理事になっておりますが、当時RI理事エレクトの水野功さんが参加されました。わたくしは芳賀さんから水野さんのエイドをしてほしいということでエイドをお引き受けしました。そういう経験をいろいろさせていただきましたが、このRYLAの研究会は来年は広島で行われます。また、地区の青少年奉仕委員会では関わってる方はいらっしゃいますけれども、青少年交換というのがあります。これについても、昨年5月10～12日まで山形の天童でロータリー日本青少年交換研究会山形会議というのがありました。全国34地区あるんですが、実際に取り組んでる地域は24地区でもっと広めたいという意図があります。その24地区のインバウンドされてる子供。日本に来て8か月の子供たちが日本語のスピーチコンテストをしました。私もそのスピーチを聞きました。素晴らしい日本語でテーマも素晴らしく、私は涙を浮かべて聞きました。同期のガバナーエレクトの方々が十数人みえてましたので、皆さんに私たちが英語圏に行って8か月経ったらこんなに英語喋れるかねって言ったら、「早川さん、それ無理無理、若いからだよ、これは」って言われましたけど。本当に私たちの寄付額が少ないかもしれませんが、こういうふうにプロジェクトの幅が富んでいるという素晴らしい事を本当に目の当たりにして、私は感動した覚えがあります。この取り組みは来年6月に青森でまた発表会があります。実はわたくし自身がガバナーエレクトの時代にお集めしなければならぬ3つのセミナーがございま

す。一つは、地区チーム研修セミナー。もう一つは、会長エレクト研修セミナー。もう一つは、地区研修協議会。3つがあります。一番最初に申しあげました地区チーム研修セミナーというのは、年が明けると今度は地区チームラーニングセミナーと言葉が変わります。それから、皆さんご存じの会長エレクト研修セミナー。英語でいうとPEETSですね。「Presidents-Elect Training Seminar」ですか。これが今度はTrainingじゃなくてLearningになります。だから、PELSになります。それと、地区研修協議会もラーニング協議会、名前が変わります。「Training」から「Learning」になるということは受ける側が受け身じゃなくて、今度は積極的に学んでいくという対応になります。そこで先程クラブ協議会でも申しあげましたけれども、マイロータリーに登録をさせていただいて、こちらクラブはかなり90数パーセントになってますので、ほとんどの方が登録されてると思いますが、その中にあるラーニングセンターで自分の委員会に関わるようなことを学んでいただければというふうに思います。また、RLIというところを今地区でやっておりますが、これが全国レベルで3つのパートに分かれて最終的にセミナーが4つあります。これ全国標準ですから。例えば、今度の日曜日はパート2になります。パート2からはじめての来年1を受ければ卒業になります。卒業すると先程バッチの話がありましたが、この一番下に付けているバッチがRLIの卒業バッチです。こういうバッチも付けながら、PRで付けてるんですよ。私、自慢するために付けるんじゃないで、RLI卒業するとこうなりますよ、ポリオはこれですよとかっていう意味です。こちらは米山なんですが、そんなふうにいるんな地区で取り組んでいる事業もありますので、是非皆さん方も参加いただければありがたい。特にRLIは入会間もない方からベテランの方々でも、自分のやらなかったようなロータリーの活動を学ぶことができますので。もう一つ、朝9時から夕方4時半くらいまで講座が6講座あります。一切眠くなることはありません。どうして。私、いつも最後に「帰りの運転気を付けてください。」と言うとこなので。緊張してずっと一日いて、帰り眠くなるんじゃないか。それだけが心配するくらいのセミナーです。ですから、RLI是非ご参加いただければと思います。最後になりますけれども、実は地区研修協議会の時でお詫びを申し上

げなければならないことが一件あります。私の所属している郡山北ロータリークラブは42名のクラブです。ホストクラブということで、中央分区の他のクラブの方々にも協力をいただいてやっておりますけれども、地区研修協議会の時に駐車場係の人も中で委員会のセミナーが始まった時の委員会の委員も兼務しておりました。そこで、実は時間になったら皆さん方が内側に入って委員会のセクションに配置したんですね。そしたら、遅れてきた方が駐車場まで車が届かなくて帰られたという連絡がありました。大変申し訳ない事をしてしまったなという事がありまして、地区大会ではそんなことのないようにという事で、今対応しております。ですから、楽しんで参加いただければというふうに思います。また、一日目には学友ナイトというのを企画しております。各委員会ではいろんな事に関わってきた参加した方々が、今ロータリーファミリーということで声をかけているのですが、その方々がだんだんとロータリアンになるように今、向いてきています。ただ、地区としてはそういうフォローをしてこなかったということがあったもんですから、それもきちんとした対応をしていくことによってロータリーの会員を増やしていければありがたいなど。先程、申し上げましたけれども米山奨学生が卒業した後にお世話になったということで入会したり。それから、ローテックス、青少年交換に関わった女性が福島グローバルロータリーに入会したりという時代に来ております。いろんな皆さん方のクラブでもローターアクト、インターアクトの子供たちが将来、ロータリアンになるべくするような環境作りをしていただければありがたいというふうに思います。地区大会については、ほぼ皆さん方パンフレットお持ちですから触れませんが、大会の2日目には11月3日には大懇親会も予定しております。酒気帯び運転にならないように、何とか工夫をいただければというふうに思います。最後に1～2分時間をいただいておりますが、わたくしは今回1月7日から11日までの国際協議会に1月5日に家を出ました。5日に出て羽田で一泊して、6日に出発をするということで9時台の出発だったんですが、皆さんご存じのように1月1日には能登半島での大地震がありました。今回、また水害で災害があるという事で皆様方に募金をお願いするところでございますが、その連絡も間もなく出せるかなというふうに思います。ただ、わたくしが6日の日

にスタートするというその前に1月2日に羽田で航空事故があったんですね。それで羽田が滑走路一本しか使えない。その同一の時間に10機の飛行機が渋滞という事で、1時間かかってフライトしました。そして、1月6日の午前中にフロリダに着きました。私1月7日が誕生日なんですが、誕生日が来ないんですよ。2日間も待たされました。これもプライベートなことですけど、私が小さな頃から母が朝起きると七草がゆが出てきて「敬介、誕生日おめでとう」妻と結婚してからも、お父さん七草がゆ出て「誕生日、おめでとう」私アメリカ行ったらさすが七草がゆは出てきませんでした。同期に行ったガバナーエレクトの方々やパートナーの方々がいらっしゃったんですが、その時のガバナー会の議長が「今日は早川さんの誕生日です」ということで皆さんご起立くださって、ハッピーバースデートゥーユーという歌を私の為に歌ってくださいましたよ。私75になりまして後期高齢者のスタートになったんですが、ハッピーバースデーって自分のために歌っていただいた事が初めてなんです。もう皆さんご存じでしょうけども、1月7日って学校休みなんですね。冬休みで誰も友達なんか集まっちゃ来ないんですよ。そんな時代でした。初めてそのハッピーバースデートゥーユーという歌を聞いて、この同期の方々と一緒にガバナーの一年を突っ走ろう。そういう決意を新たにさせていただきました。また、皆様方の所に今日お邪魔させていただいていろいろお話をさせていただきましたけれども、皆さんのクラブが金田さんがガバナーになるまでにもう一年ありますから、一生懸命取り組んでしっかりやっていただければということで、私のところで出来ることは何でも今やろうと思って、今余計なことまで言っておりますけれども、皆さんと協力しあいながら成功裏にガバナーをお勤めいただけるように祈念いたします。一番大事なことは健康管理です。本当にそう思います。余談になりますけど、私このように一日に2クラブとかいろんな事を今までやってきました。喉枯れるんですよ。病院に行って「先生、声わずらい」って言ったらね、えって皆見て「恋じゃないよ、声」なんて言って皆笑わしてましたけど、それくらいちょっと大変だなんて思います。ですから、これからは喉の鍛え方と体力、是非維持してやっていただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

矢田部さんとは長い付き合いなので、あまり今

も財団から離れておりますので詳しい事を申し上げることはできませんが、私が現役の時の今、放射能とは関係ないんですが、新型コロナに関しては特別なグローバル補助金を使わせていただきました。というのは、世界中でコロナが発症しております、本当はグローバル補助金というのはマッチングという事で、他所の国と一緒にOKですよ協力しますよというのをしてお金の支援をいただかなければグローバル補助金というのは動かないんですね。ところが、コロナの事に関してだけはマッチングのOKだけもらえば自分の地区のお金だけで出来ることであればやったらどうでしょうかというのが特別出たんです。その時に、空気感染隔離ユニットというのを導入しました。1台400万円弱です。3台用意しました。この空気感染隔離ユニットについては、例えば福祉施設とかいろんな所、病院でもそうなんです。患者がいっぱい発生した時に、患者を隔離するのか。それから、医療関係者を隔離して安心安全なエリアを設けて、いつでも対応できるようにするのかとか、そういう取り組みが出来るような装置です。初めて入れたのを実は郡山市にある「ビックハート」という所。医療介護センターに入れたんですが、そこで装置にボタンを入れたら、瞬時にバツと出来るんですね。これ日本の製品じゃないですねって言ったら、アメリカの軍需産業が作った物で、現場に持っていっても使える装置ですっていうふうに言われました。何で3台なのか。もう浜中会津ですね。どこにでも貸せるように。いつでも持ち運びできるように、郡山の「ビックハート」で管理しておりますので。皆さん方の施設とかで例

えば患者が出た。過去に使った例ですと、お母さんが高齢で子供が障害者で、その子供がコロナになってしまった。お母さんどうしてその子供をケアしたらいいのかっていうことに悩んでたのを病院に相談に来られたので、お母さんと子供を隔離するという事で使ったという例もあります。介護施設等でも患者がいっぱい出た場合、そのフロア全部を隔離して別な所で普通の人たちが健康な生活できるようにしておくということもできますので、いろんな対応ができるということです。そういう取り組み。その他に放射線についてだけは、なかなか福島県の場合というよりもチェルノブイリと違うのは、日本って山岳なので雨で流されているということも結構あって薄くはなってるんです。私が入組んだのは、南相馬における「菜の花プロジェクト」というのをやらせていただきました。韓国2地区、台湾1地区、アメリカ1地区、そして国内では東京2地区と群馬県1840地区。今回、地区大会の第1日目に田中久夫さんという方に講演いただきますが、その地区からも支援をいただきました。当然、福島県この2530地区も出しております。郡山北ロータリークラブから申請させていただきましたんですがそういう取り組みをしております、今回地区大会で「菜の花プロジェクト」で出来た菜種のオイルを皆さんに配布しようということで今動いておりますので。今後も持続的にそういうことが地域おこしに繋がればいいのかなというふうな思いを今考えております。長くなりました。失礼いたしました。ありがとうございます。

